

持続可能な佐渡観光の推進に向けた受入環境整備事業

世界遺産登録を契機に、来訪者が集中する地域・時間帯等によって、過度の混雑やマナー違反による地域住民生活への影響や、来訪者の満足度低下の懸念が生じている。

来訪者の受け入れと住民生活の両立を図り、持続可能な観光地域づくりを実現するため受入環境の整備を行う。

事業展開

観光庁補助事業（オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業）

受入環境整備・強化

両津港 交通対応力強化

佐渡汽船両津港を拠点に季節ごとのポイントへのライナーバス等を運行させ、乗用車利用を抑制した行程を促し観光地の分散化と滞在時間の延長を図る。

1 世界遺産ライナー

夏季（7.8月）のレンタカー・タクシー需要を分散させるため直行ライナーと路線バスによる輸送力強化

2 乗り合いタクシー

事前オンライン予約によるマッチングで輸送力強化（行先1か所のみ）

3 ネイチャーライナー

山野草鑑賞トレッキング4.5月、トビシマカンゾウ日本一の群生地6月

パークアンドライドの実施

需要の適切な管理

拠点1：きらりうむ佐渡

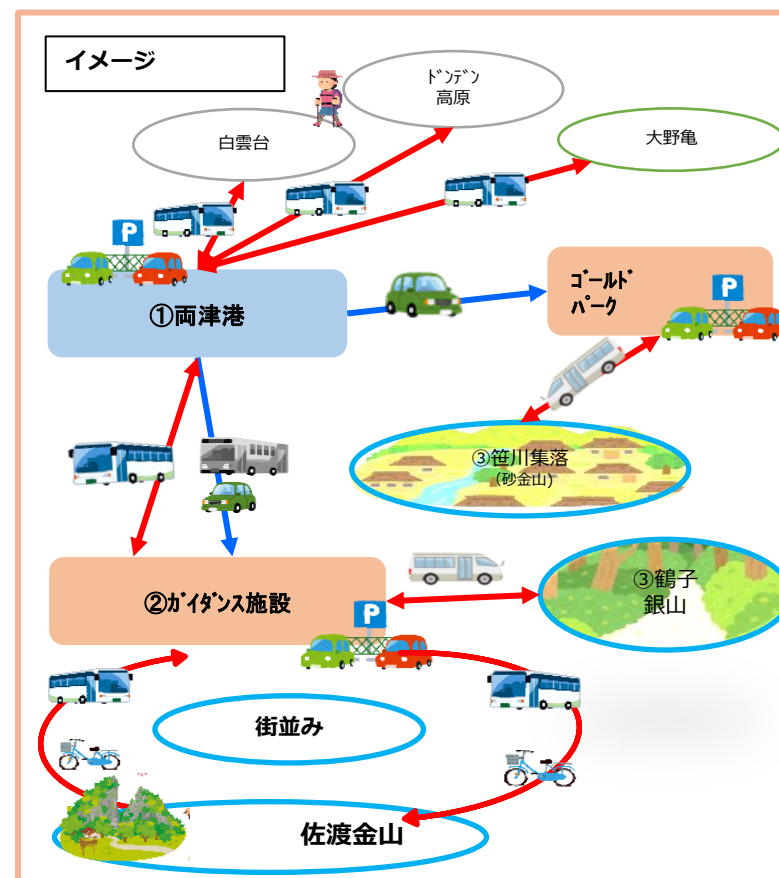
○相川周遊バス・レンタサイクル
循環バス・レンタサイクルでの周遊を促すことで渋滞解消と周辺施設での旅行消費拡大に繋げるほか、着船連結直行ライナー（往復）及び路線バスの利用を促し佐渡金山への乗用車の乗り入れを抑制する。

○鶴子銀山ガイドツアー

ガイドツアー（パーク＆ライド方式）を催行し集落内への乗用車の乗り入れを最小限にとどめる。

拠点2：西三川ゴールドパーク

○西三川砂金山ガイドツアー
ガイドツアー（パーク＆ライド方式）乗用車の乗り入れを最小限にとどめる。



持続可能な佐渡観光の推進に向けた受入環境整備事業

【目的】構成資産の周遊ルート及び2次交通、拠点施設からの町歩きルート及び2次交通・駐車場問題の解消

【受入環境整備・強化】

事業①：世界遺産ライナーバス運行

- ・事業内容： 両津港とガイダンス施設きらりうむ間の直行バスを1日3便、7/26～8/31の37日間運行
- ・期待される効果： 世界遺産構成資産集落への乗用車乗り入れ抑制、交通渋滞緩和、周辺観光・地域内消費促進

事業②：観光タクシー相乗り実証事業

- ・事業内容：相乗りタクシーアプリの構築・運用の実証事業（7～8月）
- ・期待される効果：1台あたりの乗車人数を増やしタクシー運用を効率化させ、移動データ分析で観光需要やニーズに対応する

事業③：ネイチャーライナーバス運行

- ・事業内容：両津港発着、トレッキング（ドンデン高原4.5月・金北山4.5月）、トビシマカンゾウ花鑑賞（大野亀5.6月）
- ・期待される効果：乗用車利用を抑制した行程を促し観光地の分散化と滞在時間の延長を図る。

【パークアンドライドの実施】

事業①：相川地区周遊バス運行

- ・事業内容： きらりうむと史跡佐渡金山を結ぶ周遊バスを1日5往復、4/26～10/31の189日間運行
- ・期待される効果： 佐渡金山等への乗用車乗り入れ抑制、渋滞解消、地域内旅行消費の拡大

事業②：世界遺産ガイドツアー

- ・事業内容： きらりうむ発着で鶴子銀山へ、西三川ゴールドパーク発着で西三川砂金山へガイドツアーを実施
1日3回、7/26～8/31の37日間実施（予定）
- ・期待される効果： 交通渋滞解消、住民生活への影響防止、資産保全活用による地域経済への貢献

R6 市内の交通体系（R6.4.30現在）

[illegible]